

地方独立行政法人市立吹田市民病院中期目標（案）に対する意見募集に係る市民意見

	関連する中期目標（案）の項目		市民意見
1	<p>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 市立病院として担うべき医療について</p>	<p>障がい者医療に係る記載について</p>	<p>公立病院としての吹田市民病院においては、一般の病院では設置が困難な不採算医療や専門医療の役割が期待されています。</p> <p>中期目標（案）では、「市民病院として担うべき医療」として、「救急医療」「小児医療、周産期医療」「災害医療」「高度医療」「がん医療の充実」「予防医療」「福祉保健行政との連携」の7点があげられていますが、「障がい者医療」を追加すべきだと考えます。</p> <p>吹田市の障がい者手帳の所持者は、毎年増加しています。また、知的障がい者についても年齢が高くなってきており、「高齢化」が大きな課題となっています。年齢が高くなる中では健康面の変化もあり、医療の課題が年々大きくなっていきます。</p> <p>一方、障がい者の医療については、その受け皿となる病院がほとんどありません。障がいへの理解や対応、特に自ら症状等を伝えることが困難な人の場合については、病気の早期発見等が大切になります。また、入院については、個室の利用や24時間の付き添いを求められるケースも多く、経済的事情や家族の高齢化等によりその対応が困難になっています。どうしても個室を利用しなければならない場合は、差額ベッド代を免除するなどの対応や、付き添いがなくても入院できる条件をつくる必要があります。こうしたことから、吹田市民病院の公的病院の役割として、障がい者医療の拠点としての役割をぜひお願いしたいと思います。</p> <p>具体的にはどんな障がい者でも受診ができる「障がい者外来」の設置、入院が必要な際に経済的な負担の心配がなく、付き添いがなくても対応できる仕組みづくりなど、先進的な障がい者医療をめざしていくことが求められます。</p>
2			<p>障がい者医療に関する具体的な記述がありません。障がい者に対する医療は、とても特別なものであると考えます。様々な障がいについての知識など、医療的に特別なものもありますが、障がい者は自分の体の状況をうまく伝えられないなど、対応面での特別さもあります。</p> <p>なので、障がい者医療についての知識や経験の深い医師を確保することや、障がい者医療についての市民病院の考え方を示す必要があります。</p>
3			<p>医療技術の進歩に伴い、慢性期疾患や障がいを持つ人が増えている現実があると思われます。急性期医療や高度医療も大切ですが、それらと同じくらい障がい者や慢性疾患に対する医療も充実させてください。</p>
4			<p>障がい者科の創設</p> <p>大きな総合病院が成人期に入った障がい者の小児科診察を拒否するケースが出ています。小児科でみてほしいといいません。先天性疾患や脳性麻痺の方が成人期をこえて、老齢期に入っても総合的に診ることのできる医療のノウハウを構築するために障がい者科の創設をお願いします。</p>
5			<p>全ての吹田市民である障がい者のために</p> <p>吹田市民病院にかかっておられない障がい者の方もレスパイト入院できるようにお願いします。また、さまざまな在宅療養に関する相談も受けてください。吹田市民である障がい者の医療的ニーズを把握して、市民病院として何ができるのか考えてください。</p>

	関連する中期目標 (案)の項目		市民意見
6	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 市立病院として担うべき医療について	障がい者医療に係る記載について	<p>公立病院としての吹田市民病院は一般の病院でない専門医療の役割を発揮することが期待されます。中期目標(案)では、7項目の医療目標があげられていますが、障がい者医療を加えてください。重知的障がいや重障心身障がい者の専門の医療機関がなく、一般の人と同じ受診は困難であり、理解や対応に専門性が必要です。</p> <p>入院に関しては個室利用や24時間の付き添いを求められることが多く、費用や家族の高齢化でより困難な状況になっているのが現状です。</p> <p>障がい者医療の位置づけと障がい者外来の設置の実現に向けて先進的な吹田市民病院に期待するものです。</p>
7			<p>障がい者の作業所で働いています。</p> <p>利用者の方は年々高齢化が進んでいます。通院に行く機会も増えています。歯科通院1つにとっても、大きな手術ができない利用者にとっては、定期検診は大切なものです。しかし、自分の言葉で痛みや症状を訴えることができないので、障がい者を専門で診ている医師・専門科が必要です。</p> <p>どんな人でも安心して暮らせるまちづくりのために、「障がい者医療」について考えていただきたいです。</p>
8			障がい者に関わる事業項目がないため、心配になりました。
9			障がい者施策と連携して(制度を活用して)、障がい者医療などに特化した部門を作ってはどうか。
10			中期目標からは、「市民」病院として機能していないように思われる。障がい者も市民であるにも関わらず、枠から外れているように感じられた。見直していただきたい。
11			先進医療のことばかりで、点数稼ぎにしか思えません。医療には全ての人に受けれる権利があるはずで、手がかかるからといって手抜きをしているように感じます。もっと困難者、障がい者の立場に立って考え直してください。現場を見てください。
12			障がい児者への医療等、気軽に町のお医者さんにかかれな立場の方々への配慮、明確な位置づけが述べられていません。再確認して障がい者医療を積極的に進めてください。
13			障がい者や障がい者医療の位置づけが全く見られません。吹田市民病院として障がい者医療を積極的に位置づけ、取り組んでいくことを求めます。
14			<p>福祉の業務を担っております。</p> <p>吹田市民病院にもこれまでも数多くの障がいのある方への通院支援に関わってきました。</p> <p>今後、独法化される時点で目標(案)を見渡す限り、障がい者医療に対する市民病院としての責務や方針が見当たりませんでした。障がい状況に応じた診察やインフォームドコンセント、また入院時の付き添いの難しさなど、障がい者当事者と家族のとり巻く環境は他の市民以上に厳しさと丁寧に関わる必要性があります。“市民病院”として標榜を掲げている以上、他の病院以上に障がい者医療の先駆けとして取り組んでいただけるようよろしくお願いいたします。</p>

	関連する中期目標 (案)の項目	市民意見
15	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 市立病院として担うべき医療について	公共の医療機関として、民間病院ではしにくい、採算を外れた必要性のある事業に対する施策をもつべきだ。 ①障がい者歯科の継続 ②新規に医療ケアの必要な在宅者に対するショートステイ、一時預かり ③精神科の充実による精神を病んでいる人たちの外科手術などに対する支援。 ④小児救急
16		障がい者が安心して、信用できる診察が受けられることを希望します。
17	具体的事項	脳性麻痺等の障がいを持たれた方の二次障がい（側弯症等）の進行予防や把握を積極的に行い、市民の健康増進に取り組んでください。
18	具体的事項	歯科・耳鼻科・・・障がい者医療の充実をお願いします。
19	具体的事項	婦人科・・・女性の医師の配置
20	具体的事項	市民病院のリハビリ職員は熱心に取り組まれているので、ぜひ、障がいのある方が定期的にリハビリが受けられる体制を組んでください。
21	具体的事項	障がい者（小児～成人）の診療を積極的に受け入れてもらえる医療機関にしてください。
22	小児救急	1日も早い小児救急の復活を希望します。
23	障がい歯科	障がい歯科を進めてきた市民病院で今後も障がい歯科を続けてください。
24	障がい歯科	障がい者歯科の継続と発展
25	障がい歯科	私の子どもは重度知的障がいがあり、市民病院障がい歯科に通っています。市民病院が民営化するということでとても不安に思っています。採算重視されると真っ先に障がい歯科が廃止されるのではないかと心配です。5歳から15年間もお世話になり、適切な指導と検診で、幸い大きな虫歯もなく助かっています。 こういう子どもに一般の歯医者にかかれというのは無理です。障がい歯科の医師始めスタッフの方のたゆまぬ努力と技術に多くの障がい者が頼っています。是非、障がい歯科の存続を公的に認め、公表されることを求めます。
26	具体的事項	夜間診察で受診した際に2時間近く待たされたことがある。本来、具合が悪い人を救急で診るのが目的であるのなら、優先順位を医療側がつけて待ち時間を減らすことも必要では？（ただ、後にまわされた人は不満に思うだろうが。）健常者ですらこのように思うなら、障がいをもった人や高齢の人はもっと思うだろうし、必要だと思う。ぜひ、検討してほしい。

	関連する中期目標(案)の項目		市民意見
27	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	具体的事項	私は今まで市民病院を利用したことがありませんが、視覚障がい者にとって、施設内での誘導などが不十分と聞いたことがある。同行援護の制度もありますが、それに満たない障がい者を置き去りにした市民病院であってはならない。
28	1 市立病院として担うべき医療について	具体的事項	吹田市内には医療的ケアの必要な方が地域で生活されていますが、親なき後のことを考えると病院が運営できる療養介護施設が併設されていると安心です。事業面での採算も可能ですので、一度研究をお願いします。そのためには、障がい者医療の専門家の配置が必要です。(内科に配置して大人の障がい者も診察してください)療養介護施設が併設されると、ショートステイの要望にもこたえることができます。
29		ショートステイ	医療的ケアを必要とされる方が短期入所(ショートステイ)できる体制を整えてください。
30	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	医療職の人材確保について	病院経営での重要課題である、医師の確保と看護師の獲得に対する見解が見られない。
31			健常者だけでなく、様々な障がいのある方のことも知って看護・介護ができるようになってほしい。
32	2 質の高い医療の提供		障がい者施設で働くものです。障がい者の方が入院された際、食事や移乗の介助をご家族が行っている現実があります。看護師の増員、介助方法の徹底をお願いします。
33	第4 財務内容の改善に関する事項 1 経営基盤の確立について	運営費負担金について	「地方独立行政法人法の趣旨に沿った基準による適切な運営費負担金のもと、経営改善に取り組むこと」とありますが、市議会 平成24年12月定例会で請願第6号「吹田市民病院の機能と体制の充実を求める請願」が採択されましたので、その趣旨(市は一般会計からの繰入額を減らさず、引きつづき市民病院の運営に責任を持つ)をぜひ入れてください。 例えば 「法人は原則として独立採算で運営されなければならないが、病院経営に不可欠な長期貸付金や運営費負担金(運営交付金)については吹田市が責任を持って確保する」などを追加してください。
34			吹田市は一般会計からの繰入額を減らさず、市民病院の運営に責任を持ってほしい。
35	第5 その他業務運営に関する重要事項 3 新病院移転計画への対応	市民病院移転後の内容について	移転に伴い、従来市民病院で支援していた「わかたけ園への医療」「老健施設との医療援助」に対する方針がない。
36			岸辺に移転して、全額借金にて建設と聞くと、あたらしい病院での財政負担が重くなるのではないかと心配。
37			国循が来てもこなくても、岸辺に移るメリットデメリットを公開すべき。
38			移転した後の診療科目を明らかにしてほしい。同時に新しい医療機器の導入による新しい医療措置は何ができるようになるのか。

	関連する中期目標 (案)の項目		市民意見
39	—	地方独立行政法人化 について	経営難を理由に市民の財産を他の業者に譲渡など市長の誤った思索は責任放棄の誹りは免れず、決して許されるものではありません。
40			35万都市のいのちと健康を守る市立吹田市民病院を行政が守らなくてどうするのでしょうか。赤字でもいいじゃないですか。もうけなくても。私たちの税金が安心して暮らせるところに使われるのを喜んでいいと思います。
41			公約でこそ市民の生命や健康が守られます。独立行政法人化には反対です。利益を求めたり、もうけ優先になってしまっただけは困ります。
42			市民の健康を守るのが自治体の役目であり、市民病院がその中心になっていく施設でなくてはならないと考えます。
43			市民病院の独法化ということですが、心配なのは吹田市の責任があいまいにならないかということです。公立でなくなるから市の責任はない！ということなら、それをきちんと中期目標の中でうたうべきだと思います。独法化になっても市民の安心のよりどころになる市民病院—吹田市が運営の責任を持つ形を希望しています。
44			市民病院が独立行政法人化するに当たり、公的な責任をまっとうできるのか不安です。
45			吹田市民病院が吹田市立ということで安心感が持てます。障がいのある我が子は、幼い時から診ていただいている先生方がいらして、行ける病院でもあります。独立行政法人となることで、不安が多々募るばかりですので、今までどおり吹田市立吹田市民病院であってほしいです!!
46			近くに信用のできる大きい病院があるという安心があるのに、民間になることで不安になる。
47			市民の命を守る責任が吹田市にあると思われます。独立行政法人になって良い点はあるのでしょうか。
48	—		独立法人化したことによる吹田市として、市全体の医療施策を作成するところがどこになるのか？
49	—		市民病院という重要な施設でありながら、交通のアクセスが悪すぎる。提案、市内の鉄道駅からの送迎用の無料シャトルバス[希望号]を復活させ、更に幹線道路から離れた住民の不便を解消するためにも市民の安全を確保する意味に置いて必要です。